



Newspaper in Education



プロ合唱団児童を指導

発声法などアドバイス

島田・第二小

島田市立第二小で9日、新国立劇場合唱団による合唱指導ワークショップが開かれた。全校児童はプロの歌手の指導を受け、歌い方のポイントを学んだ。10月に同合唱団のメンバー35人が訪れ、児童と合唱する。

文化芸術団体が小中学校で鑑賞、実技指導にあたるワークショップと、本公演の計2回で構成する文化庁の「巡回公演事業」の一環。この日は、ソプラノやテノールなど4パートのオペラ歌手とプロの指導を受けて発声の仕方を学ぶ児童

— 島田市立第二小

アンニストの計5人が講師を務めた。児童が歌う校歌を聴いて「顔を上げて上半身に力を入れないで」「遠くに声を投げるように」などとアドバイスした。さらにバス歌手の秋本健さんは「校歌の歌詞にはお茶や富士山など、静岡の魅力が詰まっている。歌詞の意味も意識して」と呼び掛

けた。11月に市内小中学校の音楽発表会に出演する5年生は、発表曲の指導も受けた。鈴木美羽ちゃん(11)は「姿勢や息の仕方を意識したら声が出しやすかった」と笑顔で話した。

2014年9月10日朝刊 中部版

① 歌を歌う時に気をつけることを、記事から二つ書きましょう。

[]

② 気をつけながら、歌ってみましょう。

年 組 名前